

同盟を大阪の小作農民を中心に組織して國粹主義運動に走つたが争議には、憲兵隊に泣きすがつて仲裁を頼むが如く眞に小作農民の生活利益を守るために闘争するのでなく、農民の戦闘的になるのを抑へつける地主御奉公の役目をもち、皇國道會は山梨、福岡縣下の農民（日本農民組合同盟）の間に組織をもつてゐるが、これ等は皆地主の御用團體にすぎないが、最近では在郷軍人を中心とするものが、ファツシヨの中農の政治運動と結びつき、産業組合、實行組合への働きかけがなされやうとしてゐる。

ハ、全農總本部派に於ける新潟縣の稻村、三宅、群馬の須永等は、軍部との關係を密接にして、總本部をファツシヨ勢力の貯水池にシヤウトと企んでゐるが、總本部では、組

合の右翼化に反對するため、全會派との統一が叫ばれ、大阪、京都、奈良縣等ではスデニ合同が完成してゐる。眞に小作農民の生活を守るために農民委員會活動、部落世帯役活動等農民運動史に新しい闘争方針、組織活動の効果をもち、未だな闘争をマキ起して来た。全國會黨派本部は、資本家地主政府のガムシヤラな弾壓迫害をうけ今では公然と本部をもつことの出来ない困難な有様にある。

三、福岡地方について

イ、福岡縣下の北九州筑豊、大牟田市は金屬、化學、機械器具製造等工業等軍需品の生産地帯として日本資本主義の心臓ともいはれる重要な地位にあつて、九州沖繩における、工場鐵山、日傭労働者の總數の約六割五分三十二萬